

- さて、電脳援助も7回目になりました。このへんで電脳援助の作り方をみてみます。文章はもち ろんいろいろ考えて書いていますが、見栄えの整え方などを整理してみます。 今回の小ネタは4つ。順番に書いていきますね。
 - ① 画像処理
 - ② ロゴの作り方
 - ③ イラストの入れ方
 - ④ 保存について

①画像処理

本格的な画像処理アプリケーションの代表といえば「Adobe Illustrator」かもしれません。も ちろん使ったことはありません!調べてみたら、75,000円とかするようです。いりません。って いうか使えません。自信があります。無料でも「<u>GIMP</u>」なんていう本格的なアプリケーションも あります。これも私は使えません。本気でやってみたい人はこれらに挑戦してもいいのかもしれま せん。

私のほしいのは、「簡単に画像に説明つけたり、枠をつけたりするもの」です。多すぎる機能 は不要です。ほしい機能を簡単に使えるものがいいのです。



これはEvernoteが提供してい る無料アプリケーションです。

こんな風に、画像を枠で囲んだり、 矢印をつけたり、文字をいれるこ とができます。

(画像の中身はあとで出てきます)

説明を入れたりするのに最適な のです。加工した画像はEvernote 上に残るので、iPhoneで撮った 写真を加工してパソコンで見る、 というのも簡単です。



ついでに<u>Evernote</u>も紹介しておきます。

簡単にいうと、Webメモ帳ですね。 Web上にメモがおいてあってスマホ、PCからアク

セスできますし、メールでもメモが送れます。

写真などもおいておけるので、「思いついたこと、残しておきたいことをどんどん入れておく」 という使い方ができます。



いまのところ、Windows、Mac、iOS(iPhone、iPad)、Androidで使うことができます。 iPhoneの画面はこんな感じ。



テキストというボタンを押すと、 すぐに入力画面になります。

思いついたことを書いて「保存」 を押すと、いつでもみることができ ます。

これだけです。

ここにメモをためておくと、あと でパソコンからみて編集することも できるのです。

左側の写真の「ノート」というの がメモリストです。「無題のクイッ クノート」がタイトルをつけずに保 存したものですね。

さっきでてきた「Skitch」で編集した画像もこのEvernoteに保存されるわけです。 iPhoneで写真をとる⇒Evernoteに保存⇒パソコンのSkitchで編集⇒Wordに載せる という手順をとっています。もちろん、上で使っている画像もその方法をとっています。

※パソコン画面の画像を扱うには

パソコンで表示されているものを画像ファイルにすることを、「ハードコピー」「画面キャプチャ」などと言ったりします。Windowsの場合は、PrintScreenというキーを使います。



たいていのキーボードは右上にあります。略されて「Prt Sc」などと書いてあるかもしれません。 左側のノートパソコンでは、[Fn]キーを一緒に押します。 右側のデスクトップパソコンでは、[shift]キーを一緒に押します。 これを押すと、[クリップボード]に画面がコピーされます。

Wordの画面の上でいいので、[ctrl+v]を押してみましょう。「貼付け」のショートカットキーですね。画面の画像がWord上にでてきたと思います。

[取り込みたい画面を表示→PrintScreen→貼付ける画面でctrl+v]

この画像を上のSkitchなどで編集するわけですね。(さらに、Skitchには画面キャプチャ機能もあるので試 してみてください。)

これができると、画面を操作する説明がしやすくなります。

「なにか変なものが画面にでてどうすればいいかわからないんだけど!」っていう相談もたまにうけますが、 そういわれても私もわかりません。そういうときに「画面のハードコピー送って」とします。百聞は一見にし 、かず。みればすぐわかったりもします。

②ロゴの作り方

ー番上についている「電脳援助」ですが、Web上にあるアプリケーションを使って作っていま す。もちろん、無料です。

「<u>簡単ロゴ作成</u>」というサイトです。(クリックするとサイトに行けます)



すぐにこんな画面がでるので、下の白い枠の中にロゴを作りたい文字を入れます。(「電脳援 助」と入っているところ。)

「フォント名」を好きなのにして、「背景」「テキスト」の色を決めます。

そして「幅」「高さ」を適当なものにしたらもうできあがり。下の方にある「適用」を押すと 反映されます。それでよければ「ダウンロード」を押すと、画像ファイルとしてダウンロードでき ます。「Wordのテキストボックスを使えばいいじゃないか」と思う方もいらっしゃるかもしれま せんが、こうやって作ると何回も使えるのです。

左下に表示されているのが、出来上がり予定のロゴです。「Ver.7」とか「浅田英輔」も同じようにして作っています。

③イラストの入れ方

昨今は、インターネットで検索すれば、いろいろな画像を見つけることができます。

でも、「お、この画像ちょうどいいぞ」と思っても、ちょっと待ってください。どんなものに でも「著作権」が存在します。「ちょっと使うくらいいいじゃないの」っていうものではありま せん。特に、人目に触れるものには注意が必要です。

一番いいのは「手書き」ですね!自分で描いてしまえば問題ありません。ただ、手書きにする と逆の問題が生じます。「自分が書いたものをほかの人に勝手に使われる」というのはやっぱり いやなものです。 それらの問題をクリアするには! 無料のイラスト配布サイトというものがあるのです。 私がよく利用するのはこちら。「<u>IIIIust AC</u>」(クリックするとサイトに飛びます)



イラストを探したくなりますが、まずはここを確認しましょう。

画面の中にこうかいてあるところがありますね。

「商用利用」→商用サイトに使ってもいいよ、という意味です。

「すべて無料」➡無料イラストと有料イラストがある場合がありますが、このサイトは無料だけ。 「EPSあり」➡まあ、うん、気にしなくていいです。

「クレジット表記不要」→サイトによっては、画像を使うときにサイト名などを表示させなけれ ばならない場合があります。

「イラスト3万点以上」⇒たくさんありますね!

「もっと詳しく」のところも一応みておきましょう。

・加工可能➡イラストを改変してもいいようです。切り抜いたり、色を変えたりしてもよい。

・商品化利用不可➡商用利用と似ていますが、このイラストそのものを売ったりしちゃだめ、っ てことですね。商用利用は「商品を売るサイトなどに使ってもよい」という意味です。

「商用利用」や「商品化」などは解釈の仕方がそれぞれあると思うので、使うときには疑問を 持って、こういった説明をよく読みましょう。

④保存について

まず、こういう記事を作るのには、やはりMicroSoftのWordが便利ですね。といいつつ私は Pages(Macで使うワープロソフトです)でこの原稿を書いていますが。Wordじゃなきゃ、 Pagesじゃなきゃできないこと、っていうのはほとんどないかと思います。お好みのワープロソフ トでいいです。

記事自体は文章を打ち込んだり、②や③で画像やイラストを入れればできます。

問題になるのはフォントです。フォントとは、日本語でいうと「書体」です。よく見るのは 「**MSゴシック」**「**MS明朝**」などでしょう。「**丸ゴシック**」などもみるかもしれません。 フォントとは、画像ファイルを加工したものです。「手書きフォント」などは、一文字ずつ写真を とってファイル加工しています。そのため、日本語フォントは恐ろしいサイズになったりもします。

電脳援助のように「何かを伝える記事」のときに、あまりに凝ったフォントを使と読みにくくなってしまいますが、世の中には様々なフォントがあり、使ってみたい気持ちもわいてくるのです。

どのフォントを使おうか迷ったらこのサイト。

wordmark.it

そのパソコンに入っているフォントを自動的に読み込み、入力した文字を表示してくれます。



さて、本題に戻りますが、こういった記事を書くときに好みのフォントを使うとします。Word で作ります。編集長に送ります。

このときですが、「フォントは使っているパソコンに保存されている」のが普通です。つまり、 「自分のパソコンで作ったものが、編集長のパソコンではそのまま再現されない」ということに なるのです。Wordには「ファイルにフォントを埋め込む」機能もついていますが、ファイルサイ ズが大きくなってしまったり、Wordのバージョンが違うことなどでレイアウトが崩れてしまうこ とも多いです。

そこでおすすめは、『PDFファイルにする』です。

PDFファイルは、『画像ファイル』です。ちなみに、Wordは「テキストファイル」といいます (厳密にいうと違いますが、ここではよしとします)。

テキストファイルは、文字を検索したり、修正したりすることができるものです。画像ファイル は「みたまま」というか、文字として扱われません。見せることが目的なのであれば、画像ファ イルがいいです。記入を目的とするのであれば、テキストファイルがいいのです。

PDFファイルの作り方は、電脳援助第2回でお伝えしていますね。

○書類の保存について



私は電脳援助の記事は「Dropbox」に保存しています。 Dropboxとは、Webストレージサービスの一種。ネット上にある保 存場所のことです。ネットにつながる場所であれば、パソコンでもス マートフォンでもタブレットでもアクセスすることができるのです。 ここに置いておけば、家でも外出先でも同じファイルにアクセスで きるわけです。ふと思いついたときに書き進めるということができる のです。

できあがり



電脳援助のできあがり! 今回はいろいろとWebサービスも紹介してみました。 対人援助職としては、説明上手になりたいですね。 レッツトライ!

疑問・感想は dennouenzyo@gmail.com まで!